

令和4年度

宮崎大学工学部
編入学学生募集要項
(学校推薦型選抜・一般選抜)



新型コロナウイルス感染症の事態の変化に伴い、出願期間、試験日、合格発表日等が変更となる可能性もあります。その際は、宮崎大学ホームページでお知らせいたしますので、本学ホームページを定期的にご確認いただきますようお願い申し上げます。



URL : <http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/incorporation/hennyu/index.html>

宮崎大学工学部

工学部の教育

1) 工学部・工学研究科の教育理念

科学技術に関する知的財産を継承・発展させるとともに、市民生活及び産業の発展を担う優秀な人材を育成することによって、社会の発展と人類の福祉に貢献することを基本理念とする。

2) 工学部の教育目的

21世紀の技術者は、専門知識だけでなく、技術者としての高い倫理観を持ち、地球的規模で物事を考えることが要求される。また、環境問題の解決や高度情報化社会への対応など、従来の技術だけでは対処できない課題が次々に発生してきている。

このような背景のもとで、本学部では、十分な基礎学力と幅広い応用力を身につけ、課題探求能力とデザイン能力を持ち、優れたコミュニケーション能力を備え、自主的・継続的に学習でき、国際的に通用する人間性豊かな専門技術者及び研究者の養成を目指す。

このため学部教育では、日本技術者教育認定機構(JABEE)による教育プログラムに責任をもって対応できる体制を構築する。また、宮崎地域における唯一の工学系学部として、地域社会に高度な工学教育の場を提供することで地域への貢献を果たす。

3) 工学部の教育目標

専門教育は、必要な基礎及び専門知識と実践能力を身につけた自立した工学技術者を養成できる専門教育プログラムを構築し、かつ、そのプログラムの点検評価及び改善体制を整える。次のような知識及び能力を身につける教育を各学科の専門教育の中で実現する。

- ◎専門分野に深い興味を持ち、自学自習による自発的な学習能力を育成する。
- ◎自然科学や専門領域に対する基礎知識を身につけ、その知識を基にグローバルな視点から多面的に物事を考える能力を育成する。
- ◎工学技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を理解し、工学技術者として必要な倫理・規範や責任を判断できる能力を育成する。
- ◎身につけた専門知識を課題の発見や探究に利用し、更に課題解決へ応用できるデザイン能力を育成する。
- ◎日本語による論理的な記述、口頭発表及び討議ができ、かつ基礎的な工学英語を使ったコミュニケーション能力を育成する。
- ◎学生の知識や能力の向上を厳正に評価し、教員による適切な学習指導と教育内容の改善により基本的な専門知識と課題解決の能力を身につけた人材を養成する。

I. 募集学科及び募集人員

学 科	入学定員	学校推薦型選抜	一般選抜
環 境 応 用 化 学 科	10名	推薦による選抜は 各学科とも若干名	推薦入学者数と あわせて10名
社会環境システム工学科			
環境ロボティクス学科			
機械設計システム工学科			
電子物理工学科			
電気システム工学科			
情報システム工学科			

II. 編入学年次

令和4年4月に3年次に編入学する。

III. 実施方法

学校推薦型選抜

1. 出願資格

- (1) 高等専門学校を卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者で、出身学校長が人物及び学力ともに優秀で、健康状態が良好と認め、責任をもって推薦できる者。
 - (2) 短期大学を卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者で、出身短期大学長が人物及び学力ともに優秀で、健康状態が良好と認め、責任をもって推薦できる者。
- (注1) 合格した場合は、入学することを確約できる者であること。
(注2) 各学校からの推薦者は、各学科2名以内とする。

2. 出願手続

- (1) 出願期間：令和3年4月19日（月）～ 令和3年4月23日（金）
 - ア 本学所定の「出願用封筒」を使用すること。
 - イ 受付時間は、午前9時～午後5時まで。（土曜日・日曜日及び祝日を除く）
 - ウ 郵送の場合は、4月23日（金）午後5時までに必着のこと。
- (2) 提出先：〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学工学部教務・学生支援係
TEL 0985-58-2874

3. 出願書類等

書 類	提 出 時 の 注 意
編 入 学 志 願 票 写 真 評 ・ 受 験 票	本学所定の用紙を使用すること ※以外の所定の欄はすべて明記すること 写真【上半身、無帽、正面向き】は、所定欄に貼付すること
推 薦 書	本学所定の用紙を使用し、出身学(校)長が発行したもの
志 望 理 由 書	本学所定の用紙を使用し、本人が自筆で記入すること
卒 業 (見 込) 証 明 書	出身学(校)長が発行したもの
成 績 証 明 書	最終学歴の成績証明書(厳封したもの)
入 学 検 定 料 (30,000円)	本学所定の振込依頼書を使用し、検定料を納入すること
払 込 証 明 書 貼 付 台 紙	本学所定の用紙を使用し、検定料払込証明書(C票)を貼付すること
返 信 用 封 筒	本学所定のもの(2枚) 【受験票等を送付するので、郵便番号、住所及び氏名を明記の上、1枚のみ374円切手(速達)を貼付すること】
あ て 名 票	本学所定のもの【通知を受取る住所を正確に記入すること】

4. 選抜方法

入学者の選抜は、面接試験及び出願書類(成績証明書、出身学校からの推薦書及び志望理由書)の結果を総合して行う。

学 科	面 接 試 験 の 内 容
環 境 応 用 化 学 科	面接 (基礎的な英語、数学、物理化学及び有機化学に関する口頭試問を含む)
社 会 環 境 シ ス テ ム 工 学 科	面接 (口頭試問を含む)
環 境 ロ ボ テ ィ ク ス 学 科	面接 (口頭試問を含む)
機 械 設 計 シ ス テ ム 工 学 科	面接 (口頭試問を含む)
電 子 物 理 工 学 科	面接 (口頭試問を含む)
電 気 シ ス テ ム 工 学 科	面接 (基礎的な英語、数学、電磁気学、電気回路に関する口頭試問を含む)
情 報 シ ス テ ム 工 学 科	面接 (口頭試問を含む)

5. 試験期日及び場所

期日：令和3年5月11日（火）午前9時00分より

場所：宮崎大学工学部

なお、新型コロナウイルス感染症を考慮し、試験当日までの2週間において「新型コロナウイルス感染症」の疑いの症状があった受験生は、学校推薦型選抜を受験できない。ただし、希望すれば一般選抜を受験することができる。受験生で試験日以前に発熱などの症状があった場合は、病院等で受診し、宮崎大学工学部教務・学生支援係(TEL:0985-58-2874)まで連絡を行う。一般選抜への振替対象者だと判断した場合には、対象者へ速やかに一般選抜の詳細等を案内する。

6. 受験上の注意事項

- (1) 受験の際には、必ず本学の受験票を持参すること。
- (2) 集合時刻 午前8時30分
- (3) 指定された時間に遅れた場合、特別な事情がない限り面接を認めない。
- (4) 集合場所 工学部北側入り口

7. 合格発表

- (1) 令和3年5月21日(金) 午前10時
- (2) 本学ホームページでの掲載のみで発表を行う。なお、ホームページの合格者受験番号の掲載は情報サービスの一環として行うものであり、合格者本人宛に郵送する合格通知書が正式なものとなるので、必ず合格通知書で確認すること。また、選考結果を同日付けで推薦学(校)長宛に郵送する。
- (3) 電話等による合否に関する問い合わせには一切応じない。なお、合格者は合格通知書に同封する入学確約書を6月18日(金)(当日消印有効)までに提出するものとする。

8. 不合格者の取扱い

「学校推薦型選抜」の結果、不合格になった者で「一般選抜」の受験を希望する者は、所定の方法により改めて検定料を添えて出願すること。ただし、成績証明書は、提出する必要はない。

一 般 選 抜

1. 出願資格

- (1) 高等専門学校を卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者。
- (2) 短期大学を卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者。
- (3) 大学を卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者。
- (4) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和4年3月までに学士の学位を授与される見込みの者。
- (5) 大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者。(令和4年3月をもって2年間在学し、62単位以上修得見込みの者を含む。)
- (6) 高等学校の専攻科の課程(就業年限が2年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たす者に限る)の修了者及び令和4年3月終了見込みの者。ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。
- (7) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準(修業年限が2年以上で、かつ課程の修了に必要な総授業時数が1,700時間以上あること)の修了者及び令和4年3月終了見込みの者。ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。

2. 出願手続

- (1) 出願期間：令和3年5月31日(月)～令和3年6月4日(金)
 - ア 本学所定の「出願用封筒」を使用すること。
 - イ 受付時間は、午前9時～午後5時まで。(土曜日・日曜日及び祝日を除く)
 - ウ 郵送の場合は、6月4日(金)午後5時までに必着のこと。
- (2) 提出先：〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学工学部教務・学生支援係
TEL 0985-58-2874

3. 出願書類等

書 類	提 出 時 の 注 意
編 入 学 志 願 票 写 真 評 ・ 受 験 票	本学所定の用紙を使用すること ※以外の所定の欄はすべて明記すること 写真【上半身、無帽、正面向き】は、所定欄に貼付すること
調 査 書	本学所定の用紙を使用し、出身学(校)長が発行したもの
卒 業 (見 込) 証 明 書 又 是 修 了 (見 込) 証 明 書	出身学(校)長が発行したもの ※出願資格(4)による出願者は、大学改革支援・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書を出してください。 ※出願資格(5)による出願者は、当該大学の学長(学部長)が作成する在学証明書又は在学期間証明書を出してください。 ※出願資格(6)による出願者は、大学入学資格を有する者であることを証明する書類(高等学校卒業者は「高等学校長が発行する卒業証明書」等)を併せて提出してください。 ※出願資格(7)による出願者は、定められた出願資格を満たすことを証明する下記の書類を出してください。 1) 修業年限が2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上の専門課程を令和4年3月までに修了見込みであること、または修了したことを証明する書類 2) 専門士の称号付与が認められた専門課程を令和4年3月までに修了見込みであること、または修了したことを証明する書類 3) 大学入学資格を有する者であることを証明する書類(高等学校卒業者は「高等学校長が発行する卒業証明書」等)
成 績 証 明 書	出身学(校)長が発行したもの ※出願資格(5)による出願者は、修得済みの科目についての成績証明書並びに履修中の科目がある場合は、科目履修証明書(単位数が記入されたもの。)を提出してください。
学 士 (見 込) 証 明 書	出願資格(4)により出願する者は、大学改革支援・学位授与機構が証明したもの
入 学 検 定 料 (30,000円)	本学所定の振込依頼書を使用し、検定料を納入すること
払 込 証 明 書 貼 付 台 紙	本学所定の用紙を使用し、検定料払込証明書(C票)を貼付すること
返 信 用 封 筒	本学所定のもの(2枚) 【受験票等を送付するので、郵便番号、住所及び氏名を明記の上、1枚のみ374円切手(速達)を貼付すること】
あ て 名 票	本学所定のもの【通知を受取る住所を正確に記入すること】

4. 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、面接試験、及び出願書類(成績証明書、調査書)の結果を総合して行う。

5. 試験期日及び場所

期日：令和3年6月15日(火) 午前8時40分より

場所：宮崎大学工学部

なお、新型コロナウイルス感染症を考慮し、試験当日までの2週間において「新型コロナウイルス感染症」の疑いの症状があった受験生がいた場合には、6月29日(火)に追試験を別途実施する。受験生で試験日以前に発熱などの症状があった場合は、病院等で受診し、宮崎大学工学部教務・学生支援係([TEL:0985-58-2874](tel:0985-58-2874))まで連絡を行う。追試験対象者だと判断した場合には、対象者へ速やかに追試験の詳細等を案内する。

6. 学力試験

- (1) 数 学 (全学科) 8:40 ~ 9:40
- (2) 英 語 (全学科) 10:00 ~ 11:00
- (3) 専門科目 11:20 ~ 13:00

学 科	専 門 科 目
環 境 応 用 化 学 科	化学一般(主に物理化学と有機化学)
社 会 環 境 シ ス テ ム 工 学 科	構造力学、水理学、土質力学のうち1科目選択
環 境 ロ ボ テ ィ ク ス 学 科	力学、電気回路、無機化学のうち1科目選択
機 械 設 計 シ ス テ ム 工 学 科	材料力学
電 子 物 理 工 学 科	物理一般(主に電磁気学)
電 気 シ ス テ ム 工 学 科	電磁気学、電気回路
情 報 シ ス テ ム 工 学 科	情報数学、プログラミング

- (4) 面 接 (全学科) 15:00 ~

7. 受験上の注意事項

- (1) 受験の際には、必ず本学の受験票を持参すること。
- (2) 集合時刻 午前8時30分
- (3) 筆記試験開始後、30分以上遅刻した者は失格とする。
- (4) 面接については、指定された時間に遅れた場合、特別な事情がない限り面接を認めない。
- (5) 集合場所 工学部北側入り口

8. 合格発表

- (1) 令和3年6月25日(金) 午前10時
(追試験が実施された場合、7月9日(金)午前10時)
- (2) 本学ホームページでの掲載のみで発表を行う。なお、ホームページの合格者受験番号の掲載は情報サービスの一環として行うものであり、合格者本人宛に郵送する合格通知書が正式なものとなるので、必ず合格通知書で確認すること。
- (3) 電話等による合否に関する問い合わせには一切応じない。
なお、合格者は合格通知書に同封する入学確約書を 9月24日(金)(当日消印有効)までに 提出するものとする。

IV. 入学手続

- (1) 入学手続日 令和4年2月下旬までに行う。
(入学確約書提出者に対して、令和4年1月下旬に入学手続書類等を送付する。)
- (2) 入学手続時に必要な経費
入学料 282,000円
(注1) 入学料に改定があった場合は、改定後の入学料を納入していただくこととなります。
(注2) 納入された入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。
 - i. 入学料を払い込んだが、入学手続をしなかった場合
 - ii. 入学料を誤って二重に払い込んだ場合※返還にかかる手数料は、原則、納入者の負担とします。
授業料 前期分 267,900円 後期分 267,900円
年額 535,800円

(注1) 授業料は、新学期開始後に納入していただくことになります。

(注2) 授業料の納入は、原則として、預金口座からの「口座振替」とします。

i. 前期の口座振替日は初年度は5月下旬頃、次年度以降は4月下旬頃の予定です。
後期の口座振替日は10月下旬頃の予定です。

ii. 授業料に関する事項はホームページ(<http://www.miyazaki-u.ac.jp/campus/fees/jugyou/index.html>)にてご確認ください。

(注3) 授業料に改定があった場合は、改定後の授業料を納入していただくことになります。

(注4) 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(3) 入学金免除

・令和4年度日本学生支援機構給付奨学金申込予定者(※)は本人の申請に基づき選考の上、入学金の全額又は一部免除が認められることがあります。

・令和2年度以降に、編入学前の学校で日本学生支援機構給付奨学金採用者となっている方は、入学手続き時に、所定の書類を提出することで編入学後も入学金の全額または一部免除が認められることがあります。

(留意点)

- ① 入学金免除について、本制度による支援を受けられるのは1回限りです。
- ② 編入学前の大学等に入学する際に本制度による入学金減免を受けていない方に限ります。
- ③ 編入学前の大学等に在籍しなくなった日から転学・編入学(認定専攻科へ入学する場合にあっては入学)した日までの期間が1年を経過していない方に限ります。

(4) 入学金徴収猶予

次のいずれかに該当する場合は本人の申告に基づき選考の上、入学金の徴収猶予が認められることがあります。

- ① 経済的理由により入学金の納入が困難な場合
- ② 入学前1年以内(令和3年4月から申請時までの間)において、本人の学資を主として負担している方が死亡した場合又は風水害の被害を受けた場合
- ③ 前号に準ずる場合であって、学長が相当と認められる事由がある場合
- ④ 令和4年度日本学生支援機構の給付奨学金申込予定者(※)
- ⑤ 令和2年度以降に、編入学前の学校で日本学生支援機構給付奨学金採用者となっている方

(5) 授業料免除及び徴収猶予

・令和4年度日本学生支援機構給付奨学金申込予定者(※)は、本人の申請に基づき選考の上、授業料の全額又は一部免除もしくは徴収猶予が認められることがあります。申請時期は大学の指定する日で、前期・後期の年2回です。

※ 令和4年度日本学生支援機構給付奨学金申込予定者は支援対象者であることを進学資金シミュレーターにより事前にご確認ください。

<https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>

利用方法について

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/shogakukin-simulator.html>

・令和2年度以降に、編入学前の学校で日本学生支援機構給付奨学金採用者となっている方は、入学手続き時に、所定の書類を提出することで編入学後も授業料の全額または一部免除もしくは徴収猶予が認められることがあります。

入学金免除及び徴収猶予、授業料免除及び徴収猶予に関する問合せ先

学生支援部学生生活支援課 電話：0985-58-7976 (土曜日・日曜日及び祝日を除く)

(6) 既修得単位認定の申請に係る書類

- ① 既修得単位認定申請書
- ② 高専(大学)成績証明書

注)単位数及び評価の点数の記載があるもの。また、1授業科目を複数年で履修している場合は、各学年別の単位数、評価の点数の記載があるもの。

- ③ 高専(大学)在学中のシラバス等

注)カリキュラム及び授業内容のわかるもの

(7) 在学中の保険制度について

本学では、学生が安心して教育研究活動ができるように、学生教育研究災害傷害保険(略称「学研災」)及び学研災付帯賠償責任保険(略称「学研賠」)を取り扱っています。

「学研災」は、正課中、学校行事中、課外活動中及び学校施設内にいる間、並びに通学中に起こった不慮の事故により、加入者が身体に傷害を被った場合に災害補償する制度であり、全員加入としています。また「学研賠」は、加入者が教育研究活動中に他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する制度です。

さらに保障範囲を拡大した保険として「学研災付帯学生生活総合保険」があり、加入は任意です。これらの保険制度についての詳細と加入手続きについては、入学手続書類と併せて送付します。

在学中の保険制度に関する問合せ先

学生支援部学生生活支援課 電話：0985-58-7135 (土曜日・日曜日及び祝日を除く)

(8) 学生寄宿舍への入居

学生寄宿舍に入居を希望する場合は、「学生寄宿舍入居者申請書要項」を11月から翌年1月初旬まで大学ホームページ(下記URL)に掲載致しますので、ダウンロードの上、要項に従い申請してください。

要項掲載 URL： <http://gakumu.of.miyazaki-u.ac.jp/gakumu/home.html>

なお、ダウンロードする環境がない場合は、下記にお問い合わせください。

学生支援部学生生活支援課 電話：0985-58-7142 (土曜日・日曜日及び祝日を除く)

V. 編入学後の履修について

- (1) 本学卒業の要件として、2～4年間在学し所定の単位を修得すること。
- (2) 高等専門学校及び大学等で修得した単位を、本学部における授業科目の単位として読み替え申請の希望があった場合、認定することがある。なお、申請に際しては、単位認定資料(最終学校のシラバスなど講義内容がわかる資料)及び成績証明書(素点入り)を必ず提出すること。

VI. 障がい等のある入学志願者の事前相談

障がい等があり、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、出願書類提出前に宮崎大学学生支援部入試課へご相談ください。相談内容によっては本学において事前の準備を必要とする場合がありますので、できるだけ早急にご相談ください。

次表に相談例を示しますので参考にしてください。ただし、この相談例に限定するものではありません。

① 相談期限

相談期限は、学校推薦型選抜 令和3年4月9日(金) 一般選抜 令和3年5月7日(金) までとします。
出願締切後に、不慮の事故のため受験上・修学上の配慮を必要とされる場合については、早急に宮崎大学学生支援部入試課へ連絡してください。

② 相談方法

宮崎大学のホームページから相談申請書をダウンロードして、次の内容を記載し、医師の診断書等を添えて提出してください。(郵送可)

- ア 志願者氏名・志望学部・学科
- イ 障がい等の種類・程度
- ウ 受験上・修学上の配慮を希望する事項
- エ 出身学校でとられていた配慮事項
- オ 日常生活の状況
- カ 住所及び連絡先の電話番号

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者との面談等を行うこともあります。

※相談申請書ダウンロード先：<http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/1789-2.html>

③ 相談先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学学生支援部入試課
電話 0985-58-7138 / FAX 0985-58-2865
(土曜日・日曜日及び祝日を除く)

相 談 例	
① 視 覚 障 が い	拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は困難なもの
② 聴 覚 障 が い	補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は困難なもの
③ 肢 体 不 自 由	1. 肢体不自由により、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難なもの 2. 肢体不自由により、常時の医学的観察指導を必要とするもの
④ 病 弱	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患により、医療又は生活規制を必要とするもの 2. 身体虚弱により、生活規制を必要とするもの
⑤ 発 達 障 が い	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等のため配慮を必要とするもの
⑥ そ の 他	① ～⑤以外の者で配慮を必要とするもの

Ⅶ. その他の留意事項

- (1) 出願書類に不備のあるものは受け付けません。
- (2) 出願書類の受付後は、記入事項及び書類の変更は認めません。また、受付後の出願書類の返還はしません。
- (3) 振り込み済の検定料は、以下の場合を除き返還いたしません。
 - ① 検定料を払い込んだが本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合
 - ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

返還請求の方法

検定料返還請求願(様式は問いません。返還請求理由、氏名(フリガナ)、現住所、電話番号、検定料返還先銀行口座名義(カタカナ)を明記したもの)を作成し、**必ず「C票 検定料振込証明書」を添付して**、以下へ令和4年3月31日(必着)までに郵送してください。

なお返還にかかる手数料は、原則、志願者本人の負担とします。また、令和4年4月1日以降に申し出られた場合、返還に応じることはできませんので、ご了承ください。

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地

宮崎大学財務部財務課出納係 TEL 0985-58-7122

- (4) 出願書類の請求は、封筒に「工学部編入学学生募集要項請求」と朱書し、返信用のレターパックライト(370円)(受信先の住所、氏名及び電話番号を明記したもの)を同封の上、下記宛てに送ってください。

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地

宮崎大学工学部教務・学生支援係

TEL 0985-58-2874

Ⅷ. 個人情報取扱いについて

- (1) 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人宮崎大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。
- (2) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
- (3) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
- (4) 上記(2)及び(3)の各業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より該当業務の委託を受けた業者において行うことがあります。
- (5) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報は、入学者のみ①教務関係(学籍、修学指導等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、入学料免除、授業料免除、奨学金申請等)、③授業料等徴収に関する業務を行うために利用します。

Ⅷ. アドミッションポリシー

1. 学部のアドミッションポリシー

工学部では、宮崎県唯一の工学系学部として、「宮崎に根ざし世界に目を向けた工学部」を目標に、人間性豊かで、コミュニケーション能力が高く、確実な基礎学力と幅広い応用能力を身につけ、21世紀の高度な科学技術分野や最先端技術分野で活躍できるような、問題発見・解決能力を備えた創造性豊かな技術者の育成を目指しています。

したがって、本学部各学科のアドミッションポリシーは以下のようになっています。

2. 学科のアドミッションポリシー

環境応用化学科

学校推薦型選抜・一般選抜

高専や短期大学等などから3年次編入に相応しい基礎学力を備え、環境応用化学への強い学修意欲を持つ人を受け入れます。

社会環境システム工学科

学校推薦型選抜・一般選抜

3年次編入に相応しい学力を備えるとともに、土木・環境分野と社会的課題に対する強い興味と解決意欲を持ち、加えてコミュニケーション能力を有している人を受け入れます。

環境ロボティクス学科

学校推薦型選抜・一般選抜

環境ロボティクスに関連する高度な専門教育や研究を希望し、3年次編入に相応しい学力・能力及び学修意欲を持つ人を受け入れます。

機械設計システム工学科

学校推薦型選抜・一般選抜

大学2年生終了時相当、またはそれ以上の機械工学に関する基礎学力や専門性を有し、自分の専門性をさらに磨き上げる意思を抱く人を選抜します。

電子物理工学科

学校推薦型選抜・一般選抜

主に高専や大学・短大から、3年次から電子物理工学科で学ぶのに必要な基礎学力を備え、専門技術者への強い志向を持つ人を受け入れます。

電気システム工学科

学校推薦型選抜

電気システム工学分野で学ぶ専門基礎学力が備わっていることに加え、さらに高度な電気システム工学に関連する専門教育や研究を強く希望し、一般入試では評価・確認が困難と思われる特徴的な資質・能力や学習意欲が備わっている他高等教育機関からの学生を受け入れます。

一般選抜

電気システム工学分野で学ぶ専門基礎学力が備わっていることに加え、さらに高度な電気システム工学に関連する専門教育や研究を強く希望する他高等教育機関からの学生を受け入れます。

情報システム工学科

学校推薦型選抜・一般選抜

主に高専や大学から、情報システム工学科の2年次終了相当の基礎学力や専門性を有していることに加え、専門技術者への強い志向を有している人を受け入れます。